

市の事業を市民の目で評価

～平成24年度事務事業評価の結果をお知らせします～

企画調整課政策推進係 ☎6710

市では、効率的で質の高い、市民の視点に立った成果重視の行政運営を実現するとともに、市民に対する説明責任を果たし、市政の透明性を高めるため、平成23年度より事務事業評価を導入しています。

2回目となる平成24年度は、第1次十和田市総合計画第2期実施計画に掲載されている事務事業の中から、平成23年度に実施された79事務事業について評価を行い、平成25年度における事務事業の方向性について検討しました（評価対象事務事業の詳細については、市ホームページをご覧ください）。



十和田市行政改革推進懇談会での外部評価の様子

また、十和田市行政改革推進懇談会（会長 伊藤伸彦北里大学副学長）において、第三者の視点から評価を行うことが有意義と考えられる2事務事業および同懇談会選定の1事務事業を対象として、外部評価を行いました（評価結果および今後の対応方針は、下表のとおり）。

1月23日、伊藤会長が市役所を訪れ、小山田市長に報告書を提出しました。伊藤会長は「評価結果を業務に生かすことが重要。外部評価は市民が市の業務を知るいい機会です。来年度は委員の一般公募も含めて検討していただきたい」と、話していました。

評価結果については、事務事業の見直しおよび行政運営にいかしていきます。



伊藤会長が小山田市長に報告書を提出

外部評価対象事務事業の評価結果と今後の対応方針

外部評価対象事務事業名	25年度の方向性		外部評価を踏まえた今後の対応方針
	担当課の評価	外部評価	
安全・安心メール配信システムの整備事業 【担当課：総務課】	有効性を改善して継続	有効性を改善して継続	<ul style="list-style-type: none"> ▶市民の生命を守り、防災および減災対策を強化するため、国などから送られてくる緊急・防災情報などを安全・安心メールを通じて迅速、確実に伝達するシステムを構築します。 ▶安全・安心メール配信システム運営委員会などを開催し、生活情報カテゴリーに関するシステムなどを見直し、利用者の利便性と登録拡大を図ります。
介護予防事業 湯っこで生き生き交流事業 【担当課：高齢介護課】	現状のまま継続	有効性、効率性の改善に留意しつつ事業の重点化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ▶介護予防事業のさらなる充実を図ることや、男性参加者を増やすことを目的に市広報などで事業をPRし、高齢者の参加者を増やしていきます。また、老人クラブ連合会や町内会連合会などの広報紙などへ事業の掲載を依頼し、会員の参加を働きかけます。 ▶自分で会場へ行けるかたには、曜日を決めず、いつでも介護予防体操に参加できるように、気軽に参加できる仕組みを作っていきます。 ▶事業の充実を図るため、参加者からのアンケートを踏まえ、十和田湖地区には春と秋の2回訪れるようにすることや、新しいメニューも取り入れるなど創意工夫を行います。
地域防犯活動支援事業 【担当課：生活環境課】	現状のまま継続	有効性を改善して継続	<ul style="list-style-type: none"> ▶祭りや街頭啓発で十分な効果が発揮できるよう、対象となる行事などの選択を検討し、地域で防犯活動を行っている団体への支援や町内会での防犯意識啓発のための研修会などの開催について検討します。 ▶防犯協会の組織内研修や、一般市民に対する研修などの企画運営が円滑に実施できるようにするための支援方法を検討します。 ▶警察が収集している犯罪の件数や傾向などさまざまな情報を入力し、その原因や対策などどういった活動が効果的なのか警察との連携を深め、防犯協会や地域防犯団体の活動につなげるよう検討します。

※評価方法などの詳細については、市ホームページ上に公開しています。

十和田市 24年度 事務事業評価

検索